

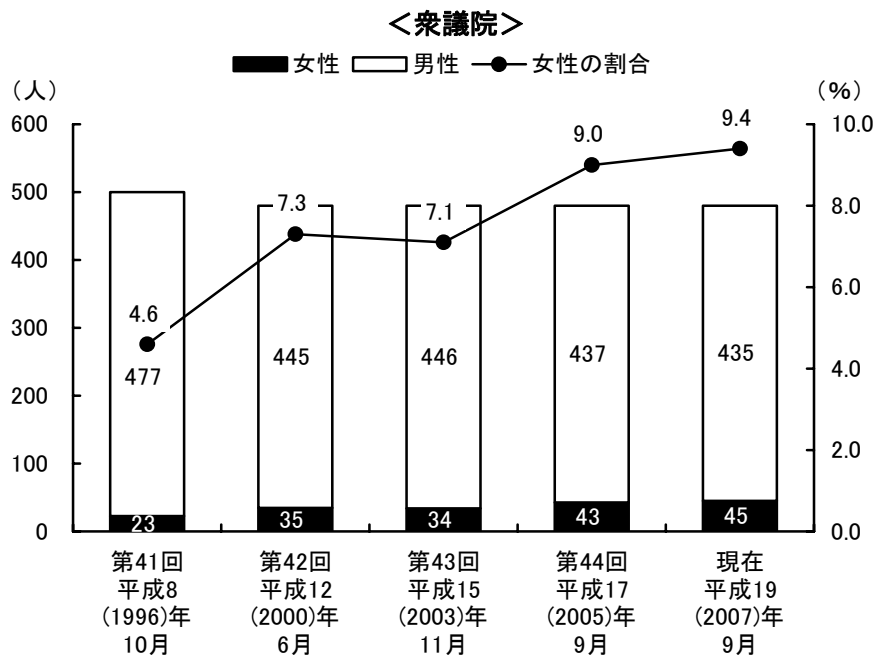
I あらゆる分野への参画の促進

I-5 社会・地域活動への参画促進

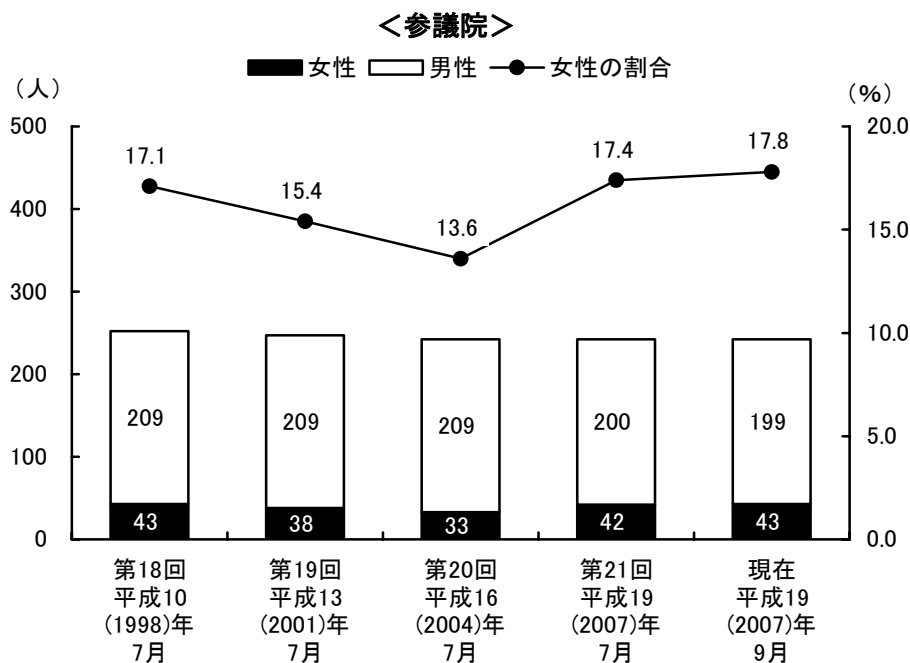
1 衆議院・参議院における議員数及び女性の割合

女性議員の占める割合は衆議院で9.4%、参議院で17.8%（いずれも平成19年9月現在）となっている。

図表 I-5-1 衆・参両院の議員数及び女性の割合の推移(全国)



注：現在を除いて、衆議院は各総選挙における女性の当選人数。



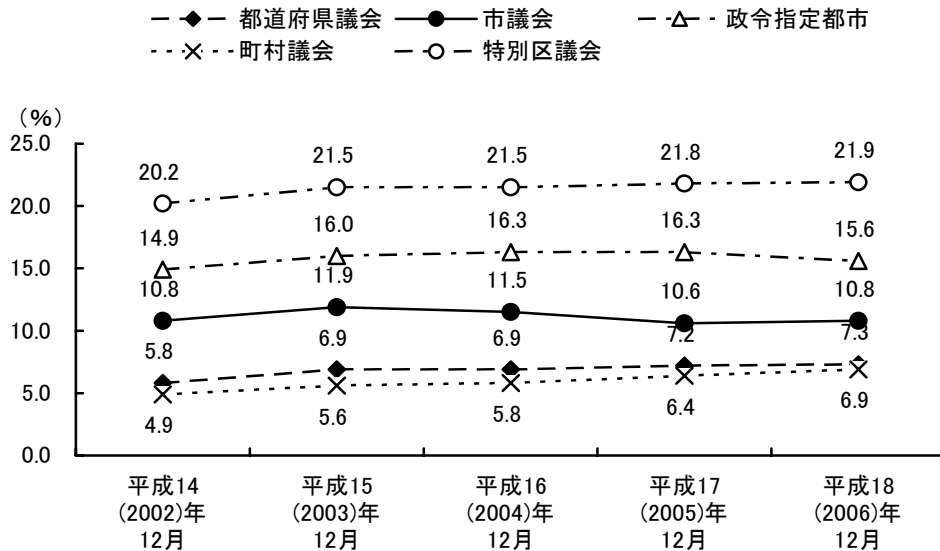
注：現在を除いて、参議院は通常選挙後の国会招集日における女性議員数。

資料：内閣府男女共同参画局「女性の政策・方針決定参画状況調べ」

2 地方議会における女性議員の割合

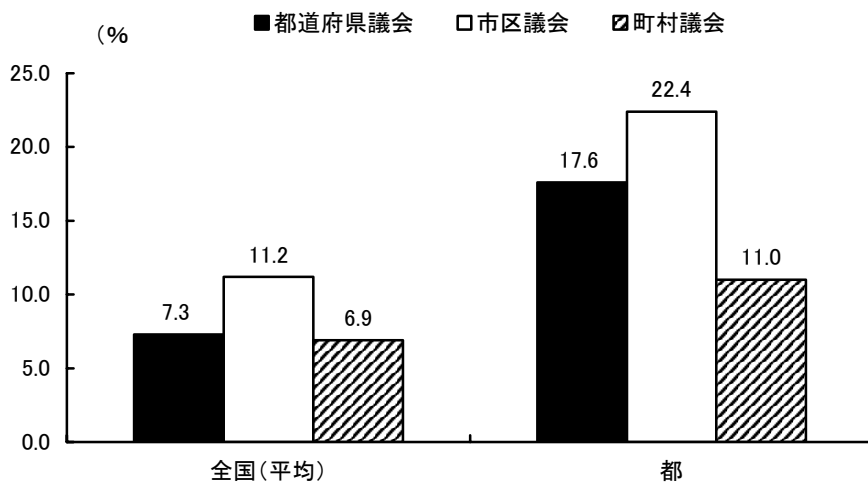
地方議会において女性議員の占める割合は市議会、政令指定都市を除き微増傾向にある。全国平均と比較すると、東京都内の女性議員の割合は都議会、市区議会、町村議会のいずれも高くなっている。

図表 I-5-2 地方議会における女性議員の割合の推移(全国)



資料：内閣府男女共同参画局「女性の政策・方針決定参画状況調べ」

図表 I-5-3 地方議会における女性議員の割合の比較(都・全国)



注：平成18(2006)年12月31日現在

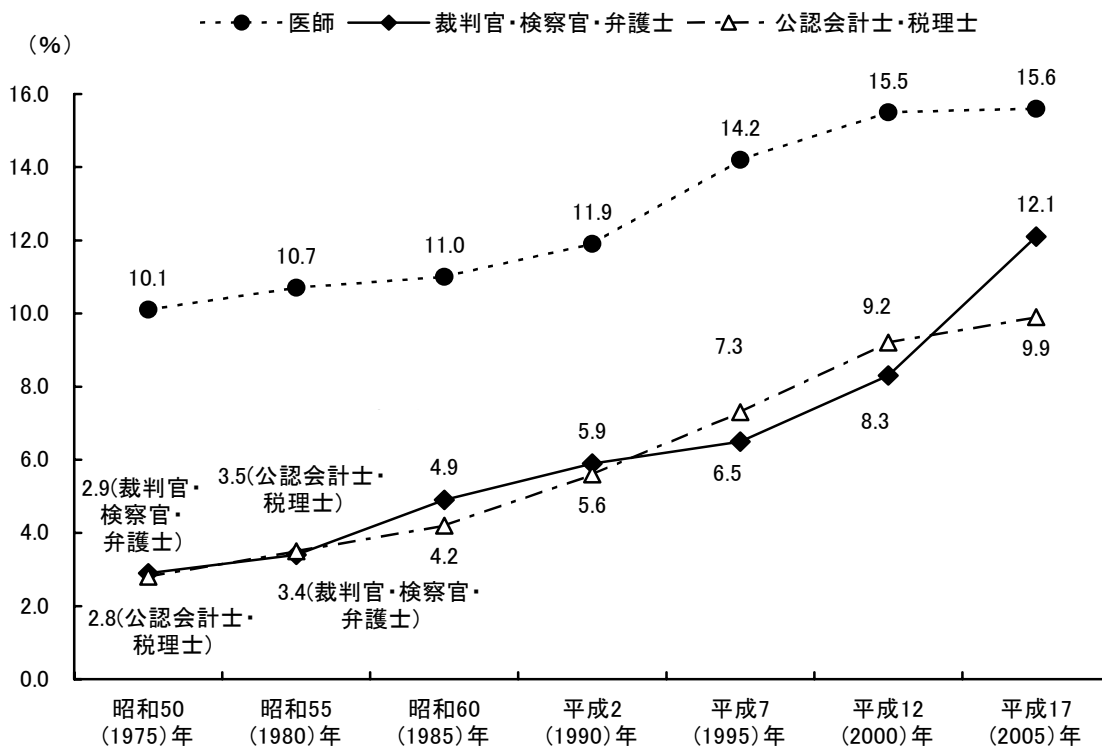
資料：内閣府男女共同参画局「女性の政策・方針決定参画状況調べ」

I あらゆる分野への参画の促進

3 各種資格職従事者に占める女性の割合

医師、裁判官・検察官・弁護士、公認会計士・税理士に占める女性の割合は、増加傾向にある。

図表 I-5-4 各種資格職従事者に占める女性の割合の推移(全国)



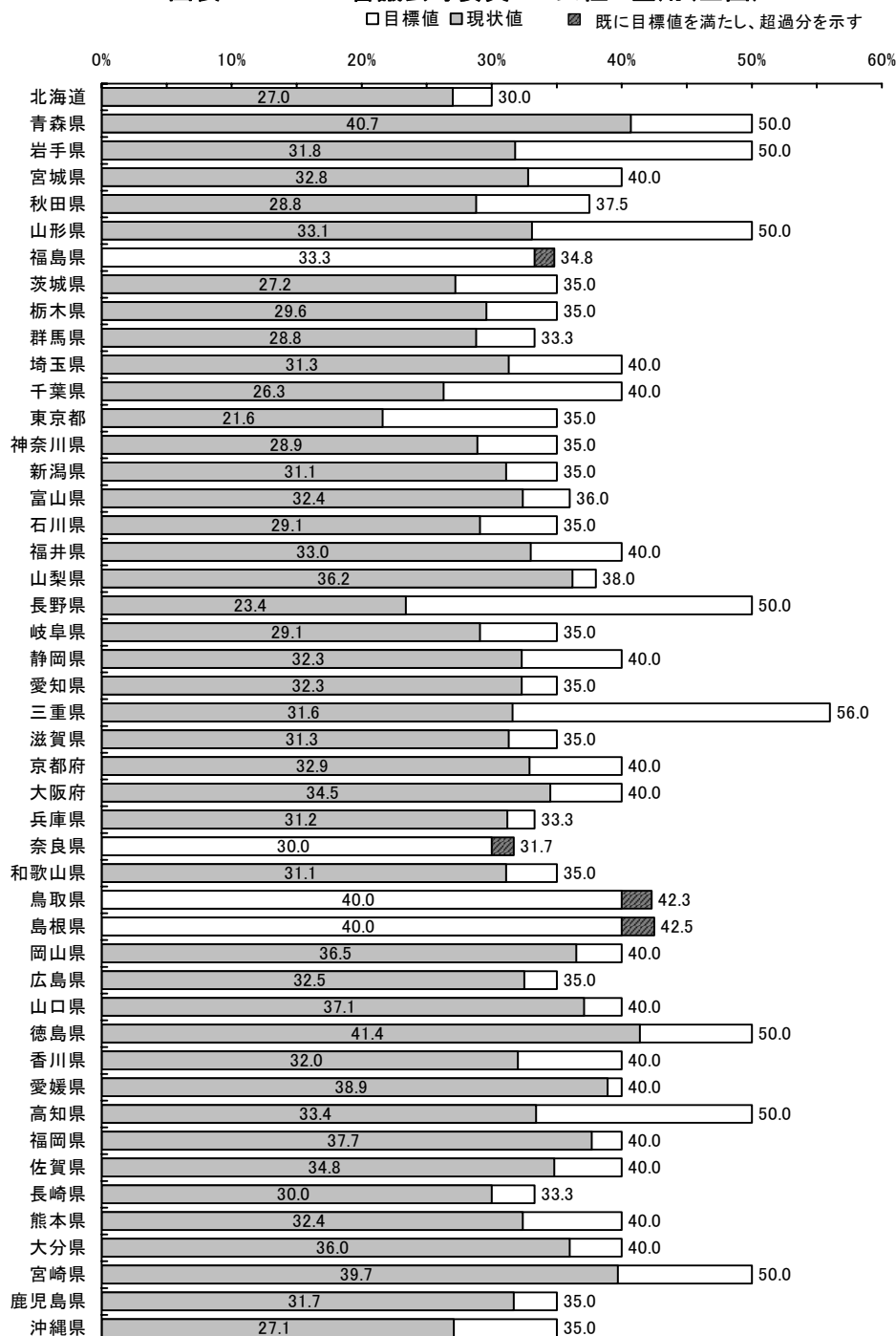
注：平成 17 (2005) 年は速報値

資料：国勢調査

4 審議会等委員への女性の登用

審議会等委員の女性の割合をみると、現状値が目標値を上回っているのは4県である。都は平成23年度までの目標値35.0%に対して、現状値は21.6%となっている。

図表 I-5-5 審議会等委員への女性の登用(全国)



注：調査時点は各都道府県で異なる。東京都は平成19年4月1日現在

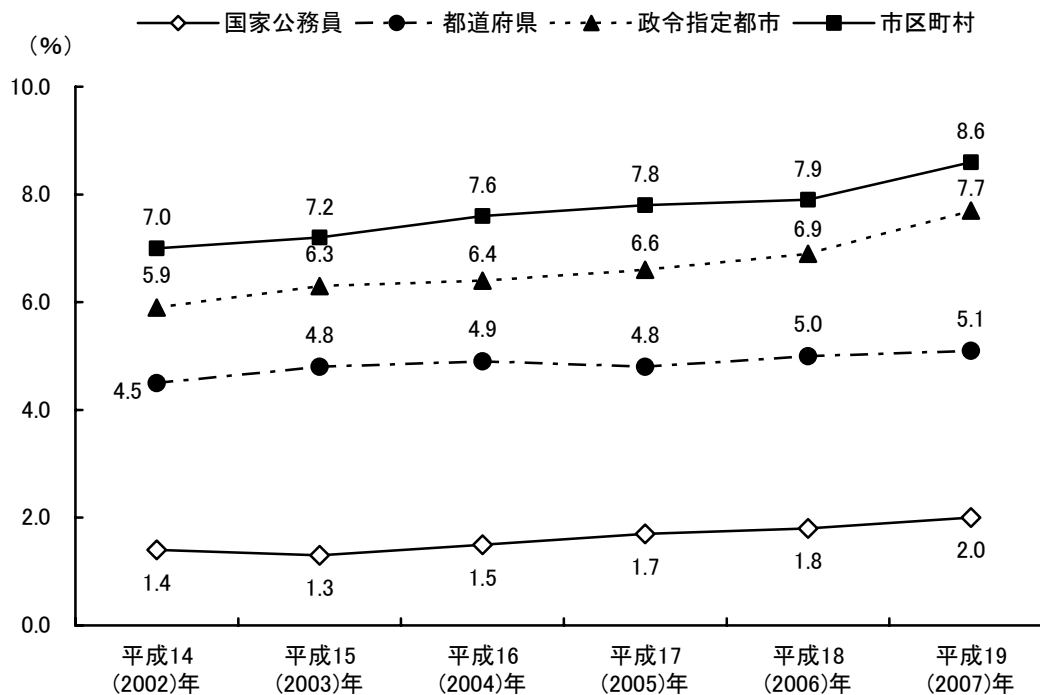
資料：内閣府男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」報告書（平成19年度）より作成

I あらゆる分野への参画の促進

5 公務員管理職に占める女性の割合

公務員管理職に占める女性の割合の推移をみると、国、都道府県ともに横ばいで推移しているものの、政令指定都市と市区町村で増加傾向が見られる。

図表 I-5-6 公務員管理職に占める女性の割合(全国)



注1：国家公務員：管理職相当の9級から11級と指定職の合計。ただし、平成19年は7級から10級と指定職（管理職相当）の合計。各年1月15日現在。

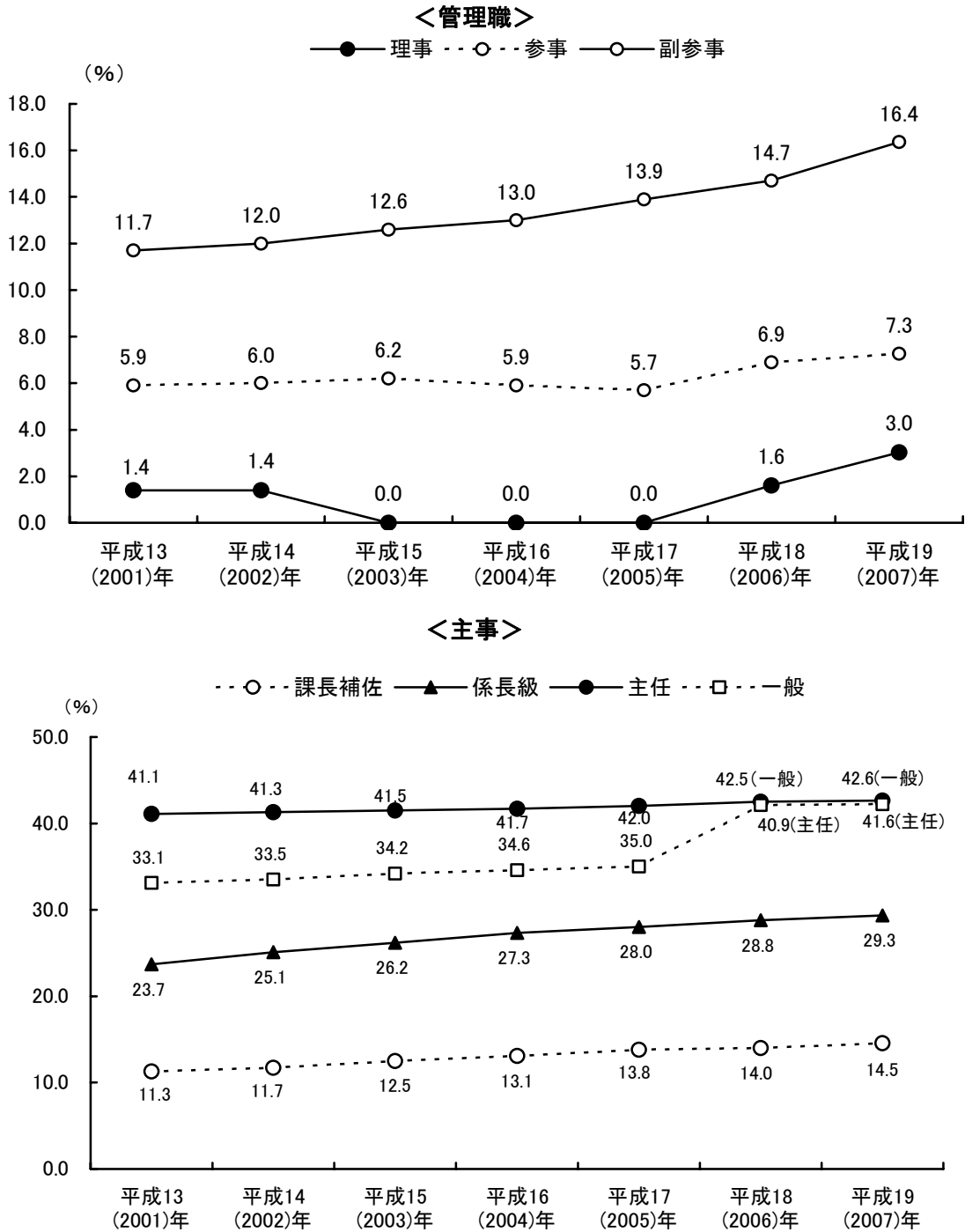
注2：地方公務員：調査時点は各年4月1日現在の自治体が多いが、事情により時点が違うところもある。

資料：内閣府「地方公共団体における男女共同参画の形成又は女性に関する施策の推進状況」（平成19年度）及び「女性の政策・方針決定参画状況調べ」より作成
（資料出所：人事院「一般職の国家公務員の任用状況調査報告」）

6 都職員の階層別女性の割合

都職員の階層別女性の割合の推移をみると、平成19年に副参事（課長級）は16.4%となり、増加傾向にある。課長補佐、係長級（係長・課主査及び次席）の女性の割合は微増傾向にある。

図表 I-5-7 都職員の階層別女性の割合の推移



注：係長級は係長・課主査と次席の合計である。

注：各年度4月1日現在

資料：東京都人事委員会「都職員の構成」

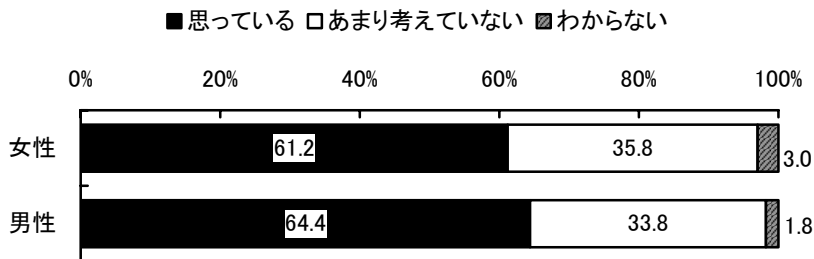
I あらゆる分野への参画の促進

7 社会への貢献意識と活動

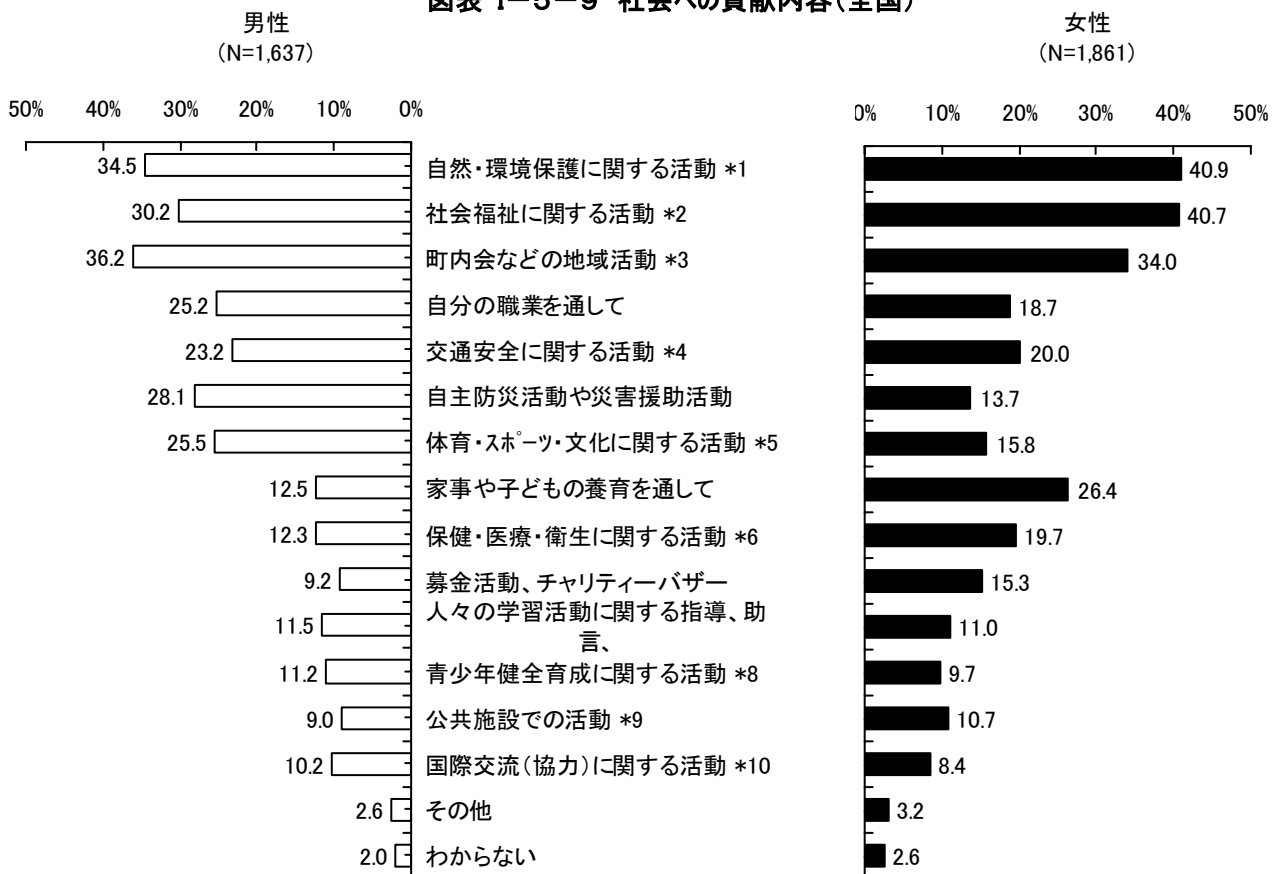
「日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っている」人の割合は、女性では61.2%、男性では64.4%である。
 活動内容としては、女性では「自然・環境保護に関する活動」、「社会福祉に関する活動」が最も多く、男性では「町内会などの地域活動」が最も多い。

図表 I-5-8 社会への貢献意識(全国)

「日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っているか」



図表 I-5-9 社会への貢献内容(全国)



注1：社会への貢献意識を尋ね「何か社会のために役立ちたいと思っている」と回答した者による複数回答

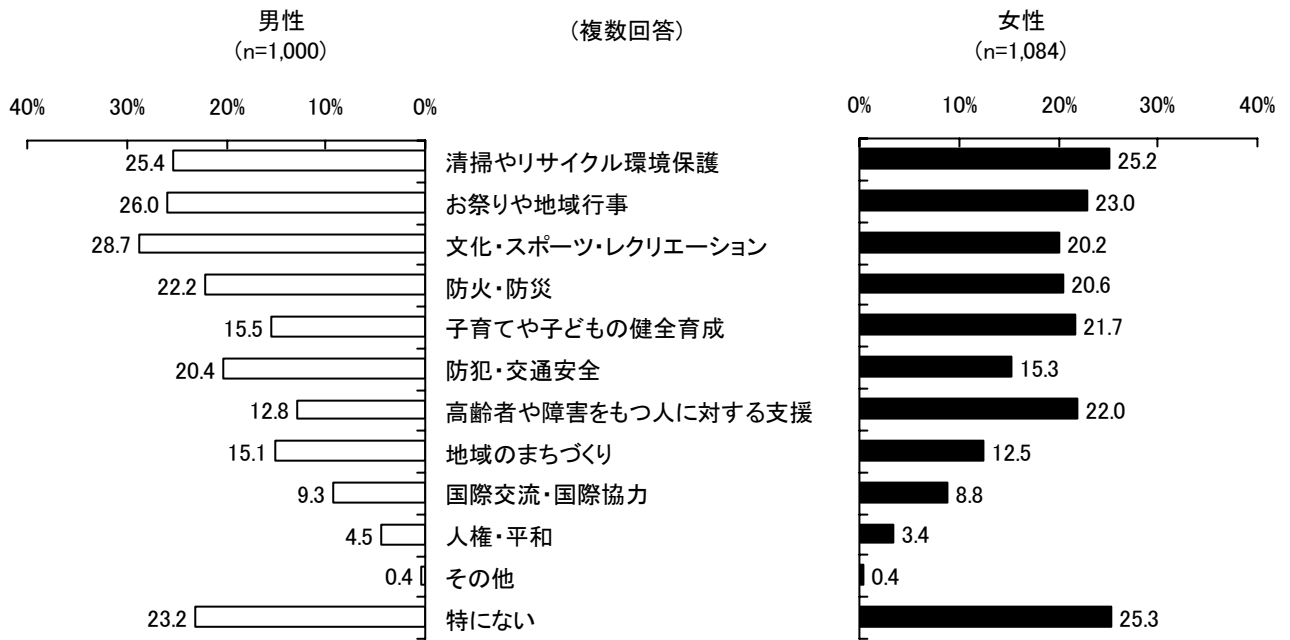
- *1：環境美化、リサイクル活動、牛乳パックの回収など
- *2：老人や障害者などに対する介護、身の回りの世話、給食、保育など
- *3：お祝い事や不幸などの手伝い、町内会や自治会などの役員、防犯や防火活動など
- *4：子どもの登下校時の安全監視など
- *5：スポーツ・レクリエーション指導、祭り、学校でのクラブ活動における指導など
- *6：病院ボランティアなど
- *7：料理、英語、書道など
- *8：ボーイスカウト・ガールスカウト活動、子ども会など
- *9：公民館における託児、博物館の展示説明員など
- *10：通訳、難民救助、技術援助、留学生援助など

資料：内閣府「社会意識に関する世論調査」平成19年1月

8 参加したい地域活動の分野

参加を希望する活動については、女性は「清掃やリサイクル環境保護」(25.5%)、男性は「文化・スポーツ・レクリエーション」(28.7%)が最も多くなっている。

図表 I-5-10 参加を希望する活動分野(都)



注：調査時期 平成 19 (2007) 年

資料：東京都生活文化スポーツ局「都民生活に関する世論調査」平成 19 年